

石田 貢三 いしだ こうぞう

活動地域：島根県益田市周辺地区 支援可能な地域：全国どこでも可能

現在 合同会社地域のちから 代表社員

#### 主な経歴

- ・合同会社地域のちから 代表社員
- ・益田地区自治会連合会会長
- ・システム工房（個人事業主・コンピューターコンサルタント）
- ・徳原自治会会長 ・益田児童館館長
- ・益田地区振興センター（地域魅力化応援隊員・集落支援員）
- ・益田歴史を活かしたまちづくりの会会長
- ・ななお手づくり鎧かぶと工房会長
- ・中世益田の遺跡活用を考える市民の会
- ・地域を明るくする会副会長

#### アドバイザー可能な分野

- ・観光振興・交流事業
- ・環境保全型地域づくり
- ・地域の IT 化支援
- ・歴史文化遺産の保全活用
- ・コミュニティビジネス

#### 地域での活動

30年近く社員として過ごしてきた人生が変わり、地域づくり、町おこしを考えるようになったキッカケは、12年前生まれ育った地元徳原自治会の自治会長になったのが始まりです。その後自治会内の益田児童館の館長を引き受けたり、益田市益田地区の歴史活用を行う会「益田歴史を活かしたまちづくりの会」の会長になったりと次第に地区全体への思いが強くなりました。その縁があり6年前からは益田地区の地域力アップ応援隊員として4年間、公私ともに本格的に地域づくり・まちおこしに取り組んできました。

益田地区は中世時代にこの地を治めた益田氏の本拠地で歴史・文化遺産が多くある「中世の小宇宙」と言われる地区です。その遺産を広く住民・市民・国民に広め、認知して戴き、訪れて戴く取り絡みを行ってきました。

まず、益田氏の居城だった七尾城跡の本丸跡に益田氏の家紋を描いた幅90cm、長さ8mの「おおのぼり」2張りを、地域住民や益田小学校児童たちとともに掲げました。

つぎに、益田地区を代表する、益田市の三大祭の一つの益田七尾まつりに甲冑(よろいかぶと)部隊を作りたくて、安来市広瀬町尼子を興す会より、紙を使った手づくり鎧かぶとづくりを習い、平成23年11月より毎年、手づくり鎧かぶと武者隊を披露して来て、平成24年11月には計7領(鎧かぶとは『領』を単位に数える)を披露しました。将来は十数領の手づくり鎧かぶとを作り、若者に着て戴き、鎧若武者隊を編成したいと考えています。平成28年は9領が完成し、現在3領を制作中です。

つぎに、前述の七尾城跡の関係で、益田市に多くある山城を広めるために、全国山城サミットという大きなイベントを益田市に招致する運動を展開したいと考えています。こちらは数年から十数年かかる運動で、ライフワークにしたいと考えています。

最近では、地域自治組織の運営を行う上で欠かせないICT活用を研究し、その一環としてコミュニティビジネスの研究・実践も行いつつあります。

## 自己PR 得意分野やアドバイザーの抱負

得意分野は、30年近くの会社員勤めで身につけた、パソコンの活用技術です。パソコンのことならハードからソフトまで一通りのことが分かります。この知識を、ICT(情報通信技術)を活かした地域づくり・町おこし等々に最大限活用していきます。

また、自治会長をして12年、益田児童館館長として11年の実績を、また、集落支援員(地域魅力化応援隊)としての使われる側(活動側)と自治会長・地区自治会連合会長としての使う側の両方を経験しています。自治組織及び子育て分野にも知識・実績があります。歴史的史跡・遺跡の活用等も実践活動してきました。ICT活用・コミュニティビジネス等々、いろいろな人に、様々なアドバイスが出来ると考えます。